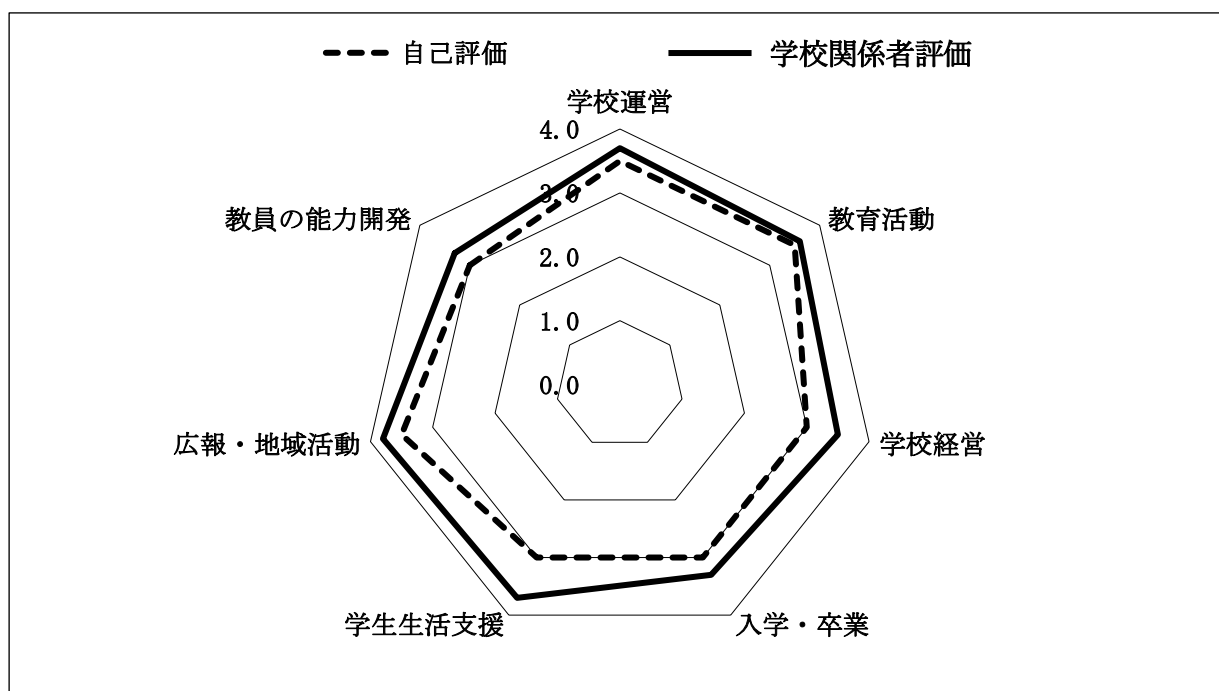


## 学校関係者評価結果

1. 評価日：令和2年4月23日～5月15日
2. 評価者：老人福祉施設の施設長、高等学校の校長、大学の教授、病院の看護部長、地域住民、卒業生（看護師）の合計6名
3. 評価内容：【学校運営】【教育活動】【学校経営】【入学・卒業】【学生生活支援】【広報・地域活動】【教員の能力開発】の7区分15評価項目
4. 評価基準：〈4. 当てはまる〉〈3. ほぼ当てはまる〉〈2. やや当てはまらない〉〈1. 当てはまらない〉の4段階評定
5. 評価結果：



評価内容 (領域)	自己評価 平均点	学校関係者評価 平均点
学校運営	3.5	3.7
教育活動	3.5	3.6
学校経営	3.0	3.5
入学・卒業	3.0	3.3
学生生活支援	3.0	3.7
広報・地域活動	3.5	3.8
教員の能力開発	3.0	3.3

## 6. 評価に対する考えと今後の課題

### < 学校運営 >

<p>1. 病院の運営目標を踏まえ、学校の教育理念・目的・目標の達成に向けて学校運営方針を明確にしている。</p> <p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○病院の年度目標に基づき、教育理念・教育目的・教育目標と前年度の学校運営方針の評価結果を踏まえ、学校運営方針を決定している。</li><li>○学校運営方針は、教員会議、学校運営会議、講師会議、実習指導者会議で提示し、理解を得ている。</li></ul> <p><b>【学校関係者評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○高い目標を掲げ、取り組む努力をしていることは評価できる。</li></ul>
<p>2. 社会的な規範を守り、学校運営を行っている。</p> <p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○看護教員としての倫理行動自己評価、ハラスメントに対する学習を実施し、教育者としての振り返りは実施している。</li><li>○学校運営に関する自己点検・自己評価を毎年、学校相互評価を3～4年に1回実施し、課題を次年度の運営に活かしている。</li></ul> <p><b>【学校関係者評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○学生を尊重し、学生が成長できるように教員全員で考えていることがわかる。</li><li>○<u>倫理行動自己評価が低い、「学生の主体的行動への機会」「目標達成のための教授方法」「快適な学習環境の提供」が課題</u>である。</li><li>○<u>学生が自ら学ぶ姿勢で主体性を持ち、援助計画、学習への意欲向上へとつなげる内容、自身の意見を相手に伝える力やその場づくりと、将来、保健医療福祉に携わる者が社会に目を向けられるよう指導することが課題</u>の一つである。</li><li>○学校相互評価では、高い評価を得ており、課題を明確化し、学校運営方針に活かされている。</li></ul>
<p>3. 組織全体の活性化に向けた取り組みを行っている。</p> <p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○組織の意思決定について、会議規程で明確にしている。</li><li>○組織の活性化のために、新カリキュラム構築プロジェクト、教授方法改善プロジェクト、学校危機管理策定プロジェクトを立ち上げ、連携しながら目的意識を持って取り組んでいる。</li></ul> <p><b>【学校関係者評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○学校の組織、運営について理解できる。</li></ul>
<p>4. 働きやすい職場環境を整えている。</p> <p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○校務分担に基づき、教員間で機会ある毎に打ち合わせを実施し、協働して取り組めるようにしている。</li><li>○年間5日以上年の年休が計画的に取得できるように業務調整を実施している。</li></ul> <p><b>【学校相互評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○校務分担が明確にされ、複数の教員で担当するようになっており、協力体制が十分とれるよう配慮している。</li><li>○<u>教員のメンタルヘルス面でのフォローへの取り組みの明確化が課題</u>である。</li></ul>

<教育活動>

5. 看護専門職を育成するために、教育方法を駆使しながら教育を実践している。

【自己評価】

○講義、技術演習では、授業案に基づき教育している。教育方法については会議等で検討を重ねている。授業終了後は学生による評価を実施し、課題を授業に活かしている。

【学校関係者評価】

- 1つの軸を置き、教材観、学生観、指導観を明確にし、指導計画を立案していることは高く評価できる。
- 学生がイメージ化しやすく興味を持てる様々な授業スタイルを取り入れている。学生自身がPDCAサイクルで学習できるように考えられている。

6. 看護専門職を育成するために、教育内容の充実を図りながら実習指導を行っている。

【自己評価】

- 基礎看護学実習前、各看護学実習前には、実習前教育を計画し実施している。
- 実習では、臨地の実習指導者とともに指導案の作成や見直しを実施し、実習指導を行っている。
- 実習終了後は、実習評価や看護技術経験の状況についてまとめ、臨地の実習指導者とともに、実習指導の課題を明確化している。

【学校関係者評価】

- 臨地の実習指導者と連携、情報共有の中で、きめ細かな指導案の作成ができています。
- 臨地の実習指導者に学生の声を伝えることができる指導者会議の重要性を感じた。

7. 看護師国家試験の合格率100%を目指して、教育に取り組んでいる。

【自己評価】

- 学生の学習段階に応じて、1年生から3年生にかけて、段階的に国家試験対策を計画し実施している。
- 模擬試験の結果を分析し、学生個々に対して国家試験対策を強化できるよう取り組んでいる。
- 国家試験の合格率は、全国平均を上回っているものの、100%合格を維持できていない状況であり、課題である。

【学校関係者評価】

○国家試験の合格率について、常に全国平均を上回っていることは高く評価できる。

8. 学生の主体性を育む取り組みを行っている。

【自己評価】

- 主体的に学習できる体制整備として、教授方法改善プロジェクトの教員を中心に、eラーニング、シミュレーション教育、協同学習に取り組んでいる。
- 教科外活動を教育の機会ととらえ、学生が主体的に取り組むことができるよう支援している。

【学校関係者評価】

○オープンカレッジ終了後には、問題点と改善点が明確化され、次年度につながる内容を学生間で話し合っていることが受け取られる。

<学校経営>

9. 適正な学校経営を実施している。

【自己評価】

- 経費において、水道光熱費や貸借料について削減対策を立て、学生の協力も得ながら、教職員が一丸となって努力している。削減結果は徐々に現れているが、継続的に取り組むことが必要である。
- 図書・教材については、計画的購入を実施している。
- 教職員の業務調整・業務協力により、超過勤務の削減ができています。

【学校関係者評価】

- 今後も検討を重ね、より良い学校経営につなげていただきたい。

<入学・卒業>

10. 入学応募者の確保に努めている

【自己評価】

- 高等学校主催・業者主催の進路相談会、高校訪問、オープンカレッジ時の進路相談、高校教諭に対する学校説明会により、募集活動をおこなっている。
- 過去と比較して受験者数は減少しているが、18歳人口が減少する中でも、できる限りの募集活動を今後も実施していく。

【学校関係者評価】

- 臨床の看護師（卒業生）に声をかけて講和をするなど工夫して、志の高い学生の確保を期待する。

11. 地域社会に貢献できる卒業生を輩出している。

【自己評価】

- 1年生から3年生へと段階的に就職・進学指導を実施している。学生の希望や学習状況を鑑み、学生の職業選択、進学選択ができるよう指導している。
- 国立病院機構への就職率70.0%以上については、達成できていない。
- 香川県内への就職率は65.0~80%であり、今後も就職率の維持に努める。

【学校関係者評価】

- 地域への就職は確保できている。
- 保護者への進路指導に対する対応を考えることも必要ではないか。
- 国立病院機構への就職率の目標が達成されない要因の解明が必要ではないか。

<学生生活支援>

12. 学生生活が円滑に行えるよう支援している。

【自己評価】

- 奨学金対応、スクールカウンセリング、福利厚生について取り組み、学生生活に対する支援に取り組んでいる。

【学校関係者評価】

- 学生生活支援について、資料を検討し、よく理解できた。

<広報・地域活動>

13. 学生を知ってもらうための広報活動を積極的に実施している。

【自己評価】

- ホームページは、学校の特徴や教育について理解してもらえるよう取り組んでいるが、タイムリーに更新することが課題である。
- 母体病院発刊のこもればい通信には、定期的に記事を掲載するよう努力している。

【学校関係者評価】

- ホームページやこもればい通信はよく目にしている。学生や教員の声を発信することができている。

14. 地域社会に貢献できる活動を行っている。

【自己評価】

- オープンカレッジ、学生祭開催時には、参加者に応じたテーマで公開講座を実施している。参加者からは好評を得ている。
- 学校行事やボランティア活動への積極的な参加により、地域住民の方々と交流を図っている。
- 教員を目指す方々の研修受け入れ、看護協会への取り組みへの参加により、地域社会に貢献できるよう努力している。

【学校関係者評価】

- 公開講座の資料はわかりやすい。
- ボランティア活動を受け入れる側として、学生の関わり方に感謝している。

<教員の能力開発>

15. 教員の能力向上に対する取り組みを実施している。

【自己評価】

- 教員に必要な、看護実践能力、教育実践能力、研究能力、学校マネジメント能力、キャリア開発能力を育成するために、経年別教育プログラムを作成し教育している。
- 研究授業、研修会参加、学会参加、研究実施について取り組んでいるが、全教員が計画的に取り組むことができるよう指導していくことが課題である。

【学校関係者評価】

- 教員の能力向上、キャリアアップに資する取り組みは重要であり、医療現場の将来を明るくする人材（人財）育成に携わる方の努力に敬意を表す。